

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2001-511985(P2001-511985A)
【公表日】平成 13 年 8 月 14 日 (2001.8.14)
【出願番号】特願 平 10-535937
【国際特許分類第 7 版】
H 0 4 L 12/00
【F I】
H 0 4 L 11/00

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書



平成 17 年 1 月 13 日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成 10 年特許願第 535937 号

2. 補正をする者

名称 アドバンスト・マイクロ・デバイス・インコーポレ
イテッド

3. 代理人

住所 〒530-0054
大阪府大阪市北区南森町2丁目1番29号
三井住友銀行南森町ビル
深見特許事務所
電話 06-6361-2021(代)
FAX 06-6361-1731

氏名 弁理士 (6474) 深見 久郎

万式
審査

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。

以上

請求の範囲

1. ネットワークステーションからデータパケットを受信するステップと、
受信データパケットの受信に応答して新たな情報を生成するステップと、
管理エージェントが用いるための、新たな情報および受信データパケットの少なくとも一部を含む新たなデータパケットを出力するステップとを含み、新たな情報は受信データパケットの受信に対応する特性を特定する、ネットワークにおける方法。
2. 生成するステップが、受信データパケットの受信に応答してネットワークスイッチの特性を前記特性の少なくとも1つとして決定するステップを含み、前記生成するステップは決定されたネットワークスイッチ特性に基づいて新たな情報を生成する、請求項1に記載の方法。
3. ネットワークスイッチが、データパケットを宛先ネットワークステーションに経路付けするためのスイッチ論理を含み、データパケットはネットワークステーションに対応するソースアドレスを有し、
決定するステップが、スイッチ論理によってソースアドレスを認識する能力を決定するステップを含み、
生成するステップが、スイッチ論理によって決定されたソースアドレスを認識する能力を特定するスイッチ論理データを生成するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。
4. スイッチ論理が既知のソースアドレスの1つと、スイッチ論理によって学習された未知のソースアドレスと、スイッチ論理によって学習されなかった未知のソースアドレスとを特定する、請求項3に記載の方法。
5. 第2の生成するステップが、スイッチ論理によって学習された未知のソースアドレスに対応するアドレス情報のメモリ場所を特定するインデックスポインタを生成するステップを含む、請求項4に記載の方法。
6. 決定するステップが、受信データパケットを受信しかつネットワークステーションに対応する受信バッファのオーバフロー状況を特定するオーバフローフラグを前記特性の1つとして生成するステップを含む、請求項2に記載の方法。
7. 決定するステップが、受信データパケットでのエラーを明記するエラーフラ

グを前記特性の1つとして生成するステップを含む、請求項2に記載の方法。

8. 生成するステップが、管理エージェントに対してデータパケットを送受信するように構成されるネットワークスイッチポートに対応する新たな宛先アドレスフィールドを生成するステップを含む、請求項1に記載の方法。

9. 新たなデータパケットに対してエラーチェックコードを生成するステップをさらに含み、出力するステップが、新たな情報と、受信データパケットの少なくとも一部分と、エラーチェックコードとを含む新たなデータパケットを出力する、請求項1に記載の方法。

10. 前記生成するステップが、受信データパケットの条件を前記特性の少なくとも1つとして決定するステップを含み、新たな情報が受信データパケットの決定された条件を含む、請求項1に記載の方法。

11. 条件を決定するステップが、受信データパケットでのエラーの存在を決定するステップを含む、請求項10に記載の方法。

12. 受信データパケットのフレームタイプを前記特性の少なくとも1つとして決定するステップをさらに含み、新たな情報が決定されたフレームタイプを含む、請求項1に記載の方法。

13. フレームタイプを決定するステップが、受信データパケットを、管理フレームと、管理エージェントおよびネットワークスイッチのポートのうち1つに対応する宛先アドレスを有する宛先指定フレームと、監視されるフレームとのうちの1つとして識別するステップを含む、請求項12に記載の方法。

14. 受信データパケットがソースアドレスおよび宛先アドレスを含み、
ネットワークステーションがスイッチ論理を含み、
フレームタイプを決定するステップが、前記ソースアドレスおよび前記宛先アドレスのうち少なくとも1つに対応するスイッチ論理データに基づいて、受信データパケットを前記監視されるフレームとしてスイッチ論理によって識別するステップをさらに含み、請求項13に記載の方法。

15. データパケットがソースアドレスおよび宛先アドレスを含み、
ネットワークステーションがスイッチ論理と、データパケットをネットワークステーションから受信するソースポートと、宛先ポートとを含み、スイッチ論理

は宛先アドレスに基づいてネットワークポートの1つを宛先ポートとして選択するように構成され、

フレームタイプを決定するステップが、前記ソースポートおよび前記宛先ポートの少なくとも1つに基づいてデータパケットを前記監視されたフレームとして特定するステップをさらに含む、請求項13に記載の方法。

16. 管理フレームがブリッジプロトコルデータユニット (BPDU) およびブリッジマルチキャストフレームのうちの1つである、請求項13に記載の方法。

17. 生成するステップが、新規データパケットが受信データパケットの一部分のみを含むことを特定するデータを新たな情報内に生成するステップを含む、請求項1に記載の方法。

18. ネットワークスイッチがそれぞれのネットワークステーションに対してデータパケットを授受する複数のネットワークポートを有する請求項1に記載の方法であって、前記方法がネットワークデータパケットおよびポートベクタを含む管理データパケットを管理エージェントから受信するステップをさらに含み、ポートベクタがネットワークデータパケットを送信するために前記ネットワークポートのグループを特定する、請求項1に記載の方法。

19. それぞれのネットワークステーションに対してデータフレームを送受信するように構成された複数のネットワークポートと、

管理データフレームを管理エージェントに送信するように構成された管理ポートとを含み、管理データフレームは、選択された受信データフレームの少なくとも一部分と、選択されたデータフレームの受信に対応する新たな情報を特定する特性とを含み、さらに、

対応する受信データフレームについての新たな情報の少なくとも一部分を生成するように構成されたスイッチングサブシステムを含む、ネットワークスイッチ。

20. スwitchングサブシステムが、受信データフレームの1つを選択された受信データフレームとして選択し、スイッチ論理データを新たな情報の少なくとも一部分として生成するためのスイッチ論理を含む、請求項19に記載のスイッチ。

21. 前記ネットワークポートの各々および前記管理ポートが、対応するデータフレームの受信に応答して受信ステータスフィールドを各々生成し、スイッチ論

理が対応の選択された受信データフレームに対する受信ステータスフィールドを前記管理データフレームに供給して送信する、請求項20に記載のスイッチ。

22. 受信ステータスが、選択された受信データフレームでのエラーおよび対応するネットワークポートでの受信バッファのオーバフローのうち少なくとも1つを特定する、請求項21に記載のスイッチ。

23. スイッチ論理が、選択された受信データフレーム内の認識されないソースアドレスを検出することに応答して選択された受信データフレームを選択し、スイッチ論理が認識されないソースアドレスの検出を示すスイッチ論理データを生成する、請求項20に記載のスイッチ。

24. スイッチ論理によって生成されたスイッチ論理データが、認識されないソースアドレスが新規に認識されたソースアドレスとして学習されたかをさらに明記する、請求項23に記載のスイッチ。

25. スイッチ論理が前記ネットワークポートの予め定められたものの受信に基づいて選択された受信データフレームを選択し、スイッチ論理データが選択された受信データフレームを予め定められた1つのポートに受信されたと特定する、請求項20に記載のスイッチ。

26. スイッチ論理が、前記ネットワークポートの予め定められた1つを選択された受信データポートの宛先ポートとして特定することに基づいて選択された受信データフレームを選択し、スイッチ論理データが予め定められたあるネットワークポートを選択された受信データフレームの宛先ポートとして特定する、請求項20に記載のスイッチ。

27. スイッチ論理が、選択された受信データフレーム内のソースアドレスおよび宛先アドレスの予め定められた1つの検出に基づいて選択された受信データフレームを選択し、スイッチ論理データが選択された受信データフレームを予め定められたあるアドレスを有するものとして特定する、請求項20に記載のスイッチ。

28. スイッチ論理が選択された受信データフレームを非ネットワークステーションフレームとして特定したことに基づいてそれを選択し、スイッチ論理データが選択された受信データフレームを非ネットワークステーションフレームとして

特定する、請求項 20 に記載のスイッチ。

29. 管理ポートが管理エージェントから第2の管理フレームを受信し、第2の管理フレームがネットワークデータパケットと、ネットワークデータパケットを送信するためのネットワークポートを特定するポートベクタとを含む、請求項 20 に記載のスイッチ。

30. 管理ポートが、管理データフレームのヘッダの一部として新たな情報を出力する、請求項 19 に記載のスイッチ。

31. 新たな情報が、管理データフレームが選択された受信データフレームの全体を含むことを特定する、請求項 30 に記載のスイッチ。